



厳しい暑さが毎日続いていますね。そんな中ですが、本日より2学期が始まり、園舎には子どもたちの元気な声があふれています。2学期は、夏、秋、冬に渡る長い学期です。

園行事も、運動会（ヒカリンピック）、秋の遠足、焼き芋会、お誕生会、保護者懇談会、クリスマス会などたくさんある、充実の学期です。保護者の皆様にも多くのご協力をいただくことが多いかと思いますが、よろしくお願ひいたします。

このおたよりは6ページあります。

2学期始業式

2学期頑張りたいことを、年長さんが発表してくれました。みんなの活躍、ひかる姿を期待しています。



大きなけがや事故なく、2学期始業式に子どもたちが、元気に集まりました。やる気に満ちたさわやかな表情です。



2学期に頑張りたいこと

「跳び箱8段を頑張りたい」「跳び箱5段を頑張りたい。」「組体操を頑張りたい。」「背泳ぎ10m泳げるようになりたい。」「ヒカリンピックのマーチング隊を頑張りたい。」「堂々とした発表でした。」



あいさつのキャッチボール、やってみました。



始業式園長の話

夏休み中けがや事故がなく、みんな元気に、ここに集まってくれてうれしいです。2学期に頑張りたいことを、年長さんが堂々と発表してくれましたね。2学期は夏秋冬にわたる長い学期です。輝くひかりっこを期待しています。

さて、2学期初めに、「あいさつ」のことを話します。ひかり園のみなさんは、朝や帰りに、あいさつをしてくれるお友だちが多くて、気持ちがいいです。あいさつは、心のボール（見えないけれど）を投げるキャッチボールです。あいさつをすると、お互いうれしい気持ちになります。これからも、あいさつをして、うれしい気持ちのかけこひかりっこになるよう、頑張りましょう。

🌸新しいおともだちの紹介🌸

8月14日(月)より、年長すずらん組に、お友だちが再入園しました。(お帰りのさい♡) よろしくお願ひします。

さて、次の資料は、7月の職員の研修「東海北陸地区私立幼稚園認定こども園教育研究会長野大会」で配布された資料です。ご参考にご一読ください。(公益社団法人 日本医師会 日本小児科医会提供)



愛着形成

親の顔と声と手は、赤ちゃんにとって最高のおもちゃです。



外遊び

五感や体力を育て、毎日が新しい発見や体験の連続です。



集団遊び

ことばや運動能力、社会性(ルールを守る)、相手を思いやる心などが育ちます。

遊
び
は
子
ど
も
の
主
食
で
す



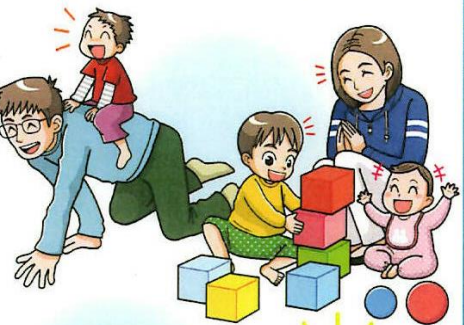
お手伝い

子どものやりたがる気持ちを大切に。親子のかかわりで生活能力、役立ち感が養えます。



生活リズム

子どもは遊びの天才です。



しっかり遊ぶとぐっすり眠り、よく食べるようになります。

～スマホを置いて ふれあい遊びを～

どこで遊ばせる？ どう遊ぶ？

子どもの遊び場を確保するのは地域の大人の責任です！



公園、子育て広場、児童館、図書館、プレーパーク(冒険遊び場)、園庭開放などを利用しましょう！

～豊かな時間を過ごしましょう～



赤ちゃんともと目を合わせ、語りかけることで、赤ちゃんの安心感と親子の愛着が育まれます。



親子が同じものに向き合って過ごす絵本の読み聞かせは、親子が共に育つ大切な時間です。



散歩や外遊びなどで親と一緒に過ごすことは子どもの体力・運動能力そして五感や共感力を育みます。

♡赤ちゃんに話しかけましょう

授乳中は、テレビなども消し、ゆったりとした気分で赤ちゃん向き合います。

「アーアー」「ウーウー」などの声を出したときには出来るだけ応え、相手をしてあげましょう。意味のある単語は1歳半頃に出るようになります。それまでは、赤ちゃんは「言葉の貯金」をしているのです。言葉が話せない赤ちゃんにも、積極的に話しかけることが、言葉の発達にはとても大事です。そのためにも、特に2歳までは子どもにテレビやDVD、スマホ、タブレットなどを見せることは控えることをお勧めします。

♡遊びの中で育つもの

自分の体をコントロール出来るようになり、人、自然、物との触れ合いの中で、赤ちゃんのさまざまな能力が育っていきます。大人の行動をまねたごっこ遊びやお手伝いなども心身の発達を促します。

特に、お父さんやお母さんなどと同じ物を見て、自分の気持ちに共感してもらおうという体験は自己肯定感を育て、心の発達の基礎になります。

○こちらのリーフレットは日本小児科医学会ホームページからダウンロードできます。

スマホに 子供を

させないで！



××こんな場面はありませんか？××



ムズかる赤ちゃんに、子育てアプリの画面で応えることは、赤ちゃんの育ちをゆがめる可能性があります。

親も子どももメディア機器接触時間の、コントロールが大事です。親子の会話や体験を共有する時間が奪われてしまいます。



親がスマホに夢中で、赤ちゃんの興味・関心を無視しています。赤ちゃんの安全に気が配りができていません。



赤ちゃんの「泣き」や「ぐずり」には意味があります

言葉を話せない赤ちゃんは、泣いたりぐずったりすることで、「おなかがすいた」「おむつがぬれた」「暑い」「寒い」などの生理的欲求や「抱っこして」「遊んで」などの情緒的欲求を訴えます。なぜ泣いているのか、わからないときに子育てアプリを見せるのではなく、「どうしたの」などの声かけや抱っこなどを繰り返すことで親子の絆ができていきます。

※赤ちゃんの泣き声に耐えられない、イライラするというときは、ひとりで悩まずに保健センターの育児相談やかかりつけの小児科医などに気軽に相談してください。

授乳中は赤ちゃんの目を合わせて！

生まれたばかりの赤ちゃんでも明るい、暗いの違いがつき、明るい方を見ようとします。特に30cmくらい離れた人の顔に注目することがわかっています。授乳中は赤ちゃんの目を見て話しかけてあげることが大事です。

視力の発達に悪影響が...

乳幼児期は視力が発達する重要な時期です。テレビやDVD、特にスマホ、タブレットなどの小さな平面画面を見る時間が長いと視力の発達を妨げます。日本の子どもたちの視力は、テレビやゲーム機の普及のあと急速に悪化しています。家の中にはわかりにくいので自然と触れ合います。

体力・運動能力を育てるには...

子どもの体力・運動能力は子どもが自主的に体を動かして自由に遊ぶことで育ちます。そして、言葉の力や社会性も遊びながら育っていきます。いろいろなことを体験することで見る、聞く、嗅ぐ、味わう、触れるといった五感がバランスよく育ちます。

今、日本の子どもたちは、子ども期に体を使った遊びが激減しています。その結果、運動不足による肥満などの生活習慣病や、ロコモティブ・シンドローム（運動器障害）が問題になっています。

見直しましょう

メディア漬け



5つの提言★

- 1 2歳までは、テレビ・DVDの視聴を控えましょう。
- 2 授乳中、食事時のテレビ・DVDの視聴はやめましょう。
- 3 すべてのメディアへ接触する総時間を制限することが重要です。1日2時間までを目安と考えます。
- 4 子ども部屋にはテレビ、DVDプレイヤー、パーソナルコンピューターを置かないようにしましょう。
- 5 保護者と子どもでメディアを上手に利用するルールをつくりましょう。

※ここでのメディアにはテレビ、DVD、電子ゲーム、ケータイ、スマートフォン、タブレット端末などの電子映像メディア機器を指します。

お父さん自身も 気をつけて

スマホを見ていると視野が狭くなり、周囲への注意力が低下します！

各地で「歩きスマホは危険です！」と警鐘が鳴らされています。自分では周りがある程度見えていていると思っても、視野が極端に狭くなっていきます。家の中でも、外でベビーカーを押しながらでも、スマホを見ながらの子育ては子どもから目を離すことになり危険です。

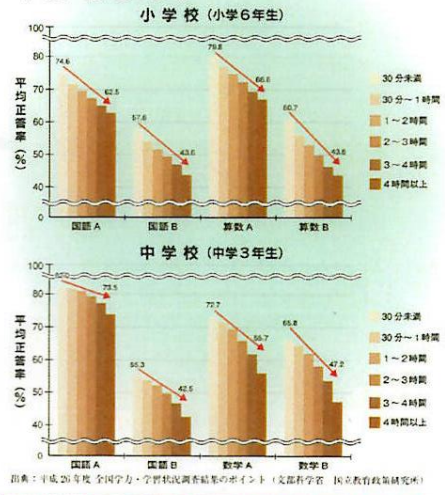
睡眠時間

夜使うと睡眠不足になり、体内時計が狂います（脳が昼と夜の区別ができなくなります）。



学力

スマホを使うほど、学力が下がります。



脳機能

脳にもダメージが!!



長時間使うと、記憶や判断を司る部分の脳の発達に遅れが出ます。

スマホの時間 わたしは何を失うか

体力

体を動かさないと、骨も筋肉も育ちません。



視力

視力が落ちます（外遊びが目の動きを育てます）。



コミュニケーション能力

人と直接話す時間が減ります。





～お知らせとお願い～



行事関係

- **8月23日(水)は尿検査日**です。前日22日(火)に容器を配布しますので、当日の一番尿を採ってください。
- 『**平和のお話 9月11日(月)**』は昨年度同様、園児と職員のみで行います。講師に、清水まなぶさんをお願いします。
- 『**ヒカリンピック 9月30日(土)**』では、未就園児の種目は実施、卒園生の種目は行わない方向で考えています。
- 『**秋の遠足 10月13日(金)**』は通常通り、園児と職員で行います。(幼稚部)

園バスの車内置き去り防止安全装置

- 園バス(大バス・ミニバス)に、**車内置き去り防止安全装置**を設置しました。

おみやげ等

- ご家庭でお出かけした時等の園児や職員へのお土産等は、園では、今後お受け取りできませんので、お気遣いなさらないように、お願いいたします。

